

継続的な変革と企業価値を創造する 「パフォーマンスマネジメント」研究会

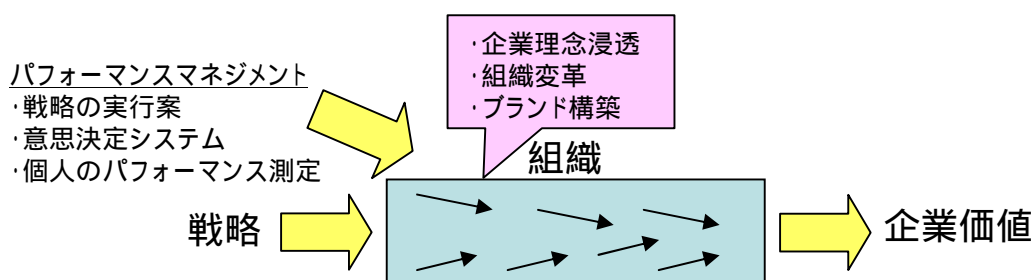
グローバル化の進展により経営を取り巻く環境が激変する中、戦略を実現すること自体、非常に大きな困難を伴います。決算発表でも業績の大幅な下方修正を行う企業が散見されます。なぜ、このようなことが起きてしまうのでしょうか？それは企業が戦略を実現したくても組織自体が戦略を遂行できるマネジメント体制になっていないからではないでしょうか？

組織・人事を司る部門として組織の戦略の実行を推進するパフォーマンスマネジメントを確立することは人事部門の大きな戦略課題です。言い換えるならば企業価値創造のために必要な計画、意思決定、パフォーマンスの測定をどのように行っていくのかということです。パフォーマンス・マネジメント・システムは、マネジャーが不確実な変化をより速く感知し、反応するための支援をし、ビジネスの成功を実現するための有効なツールとして提供されるべきです。

パフォーマンス・マネジメント・システムを構築することは3つの意義があります。

- 1、組織のミッションやビジョンに仕事を準拠させるための指標を提供する。
- 2、戦略実現のために必要な組織変革が必要であることを意味し、そのために何をすべきかを提供する。
- 3、長期的には企業価値(企業ブランド)の創造の道標を提供する。

この三つの特徴を実現している企業の方々をお呼びして効果の高いパフォーマンスマネジメントシステムをどのように構築していくのか、またラインがきちんと使いこなすためにどうしているのか、を伺います。



ファシリテーター

斧出 吉隆氏 株式会社 Human Edge 代表取締役社長

(株式会社 パソナキャリア シニアコンサルタント)

1980年 早稲田大学大学院商学部修士課程卒業。
 プロクターアンドガンブル・ジャパン入社。マーケティング・営業部門を経て、
 85年人事採用・教育担当グループマネージャー。
 93年 Asia Product Supply HR マネージャーを経て
 99年ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 人材開発ジェネラルマネージャー、
 03年シンジェンタ・ジャパン 人事広報部長
 06年日本マクドナルド 執行役員人事本部長
 08年 Human Edge 設立 代表取締役社長 として現在に至る



～年間スケジュール～

回数	日時	テーマ
第1回	6月17日	人事部門がパフォーマンスマネジメントを設計するにあたり留意すべきこと ワトソン・ワイアット株式会社 代表取締役社長 淡輪敬三氏
第2回	8月上旬 (予定)	現場ラインがパフォーマンスマネジメントシステムを使いこなすためには 日本ヒュー・イット・アソシエイツ株式会社 代表取締役社長 舞田竜宣氏
第3回	10月	ウェイ・マネジメントとしてのパフォーマンスマネジメント 未定
第4回	12月	チェンジ・マネジメントとしてのパフォーマンスマネジメント 未定
第5回	2月	ブランド・マネジメントとしてのパフォーマンスマネジメント プロクター・アンド・ガンブル・ジャパン株式会社

継続的な変革と企業価値を創造する 「パフォーマンスマネジメント」研究会申込書

日時 14:00～17:30(受付13:30～)

会場地図

定員 50名
(会場の関係上人数に限りがありますのでお早めにお申し込みください。)

場所 千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング
セミナールーム

参加費 30,000円
(全5回参加費、第1回、第5回懇親会費用含む)

問合せ先 日本CHO協会 担当:須東朋広
TEL:03-6734-0234
E-mail:cho@pasonagroup.co.jp



貴社名:	
部署名:	お役職:
氏名(シメイ):	
所在地	〒
Tel:	Fax:
E-mail:	
担当者:	

FAX 03-6734-0245

ご記入いただきました個人情報は、本セミナーの予約管理、来場受付、出席管理など本セミナー実施のためにのみ利用し、その他の目的では一切利用いたしません。